

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 医療心理科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|-------|-----------------|---|----------------------|---------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 心理特論Ⅳ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 前期 月曜2限 | 教室名 | 5校舎9階 |
| 担 当 教 員 | 岡井 豪 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 社会福祉全般に関することを学習する。その上で、心理の側面から社会福祉がなぜ必要なのか。また、社会福祉に足りない点は何かということを知りたくしたい。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験の点数70% 出席点20% 提出物・受講態度点10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 講義ではレジュメを中心に展開する。 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| それぞれのジャンル(児童・高齢・障害・低所得など)に関するニュースに耳を傾けるよう心掛けてほしい。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 社会福祉に関する知識や施設について講義します。 | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 授業の進め方を理解し、それらを受け止め、今後の授業参加に留意することが説明できる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 関連する書物を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 本講義における、オリエンテーションを行う。 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 児童家庭福祉と次世代育成の展開について、説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 児童家庭福祉に関することを調べておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 児童家庭福祉と次世代育成の展開について | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 児童家庭福祉と次世代育成の展開について、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 次世代育成について、自分なりに調べて、自分なりの考えを見出す。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 児童家庭福祉と次世代育成の展開について2 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 障がい者の自立と福祉について、説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 障害者総合支援法を復習する。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 障がい者の自立と福祉について | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 障がい者の自立と福祉について、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 障がい者の自立とは何か、具体的に考え発表できるよう準備する。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 障がい者の自立と福祉について2 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---------------------------------------|----------------------|--------------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 高齢者と福祉について、説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 介護保険と老人福祉法について調べる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 高齢者の生活と福祉について | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 高齢者と福祉について、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 自分が高齢者になったとき、どのような生活を送りたいか考える。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 高齢者の生活と福祉について2 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 貧困について、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 絶対的貧困・相対的貧困を調べる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 貧困について | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 貧困について、理解し、自分の見解を発表できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 貧困について、自分なりの見解を見出す。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 貧困について2 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生活保護について、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 生活保護法を調べる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生活保護について | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生活保護について、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 地域包括ケアについて調べる。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生活保護について2 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域福祉の展開と地域包括ケアシステムについて、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 身近な地域福祉施設を列挙する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 地域福祉の展開と地域包括ケアシステムについて | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会福祉の法と行財政、社会福祉の歴史について、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 社会福祉の歴史について、予習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会福祉の法と行財政・社会福祉の歴史 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会福祉について、理解し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 自分の周辺にある、社会福祉を考える。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会福祉とは何か。 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 前期のまとめをすることにより、何を学んだか整理し説明できるようになる。 | PC、プロジェクター、配布資料、映像資料 | 自分なりに社会福祉について、考え、発表する準備をする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 前期の振り返りとまとめ。 | | |